

「C型慢性肝炎におけるペグインターフェロン+リバビリン +テラプレビル併用療法における高尿酸血症の要因調査」について

○研究の目的

C型慢性肝炎におけるペグインターフェロン+リバビリン+テラプレビル併用療法において急性腎不全等の重篤な腎機能低下に関する副作用が報告されているが、そのメカニズムは不明で、リスク要因や対処法も明らかとなっていない。今回、高尿酸血症の発現時期、持続期間、リスク要因、腎機能の推移との関連について調査分析することで、高尿酸血症の対処法と予防法について検討する。

○研究の方法

平成23年11月1日から平成25年12月31日までに、広島大学病院消化器内科で、C型慢性肝炎に対し、ペグインターフェロン+リバビリン+テラプレビル併用療法を行った患者のうち、テラプレビル1日3回投与を行った患者を対象とします。

本研究は全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。カルテから転記する内容は、①患者基本情報②血液検査データ③投薬歴です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

*研究期間 平成24年9月18日（承認日）～平成26年3月31日

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
TEL：082-257-5579
広島大学病院薬剤部
佐伯康之（研究責任者）